

令和2年度(第5回)葉山町総合計画審議会 会議録

- ◇ 開催日時 令和2年11月6日(金) 14時より16時00分
- ◇ 開催場所 葉山町役場 3階 議会協議会室1
- ◇ 出席者 臼井正樹会長、荒本広之委員、南森生委員、守谷寿浩委員、
福安德晃委員、近藤大輔委員、高梨麻美委員、早川隆子委員
- ◇ 欠席者 三澤直樹委員
- ◇ 事務局 伊藤政策財政部長、佐野政策課長、大前係長、碓野主任
- ◇ 議員傍聴 2名
- ◇ 傍聴者 1名
- ◇ 議題
 - 1 開会
 - 2 議題
 - (1) 令和2年度第4回総合計画審議会議事録について
 - (2) 総合計画特別委員会からの意見等に対する対応状況
 - (3) パブリックコメントの実施結果について
 - (4) 第四次葉山総合計画答申案について
 - (5) その他
 - 3 閉会

◇ 資料

- 令和2年度第5回葉山町総合計画審議会 次第
- 特別委員会からの意見等 (資料1)
- パブコメに対する町の対応 (資料2)
- 後期基本計画 (写真挿入) (冊子)

1 開会

事務局

定刻になりましたので、令和2年度第5回葉山町総合計画審議会を開催させていただきます。

・事務局より配布資料の確認を実施

臼井会長

こんにちは、総合計画審議会を開催したいと思います。横須賀市内で会議をやっていて、会議の構成のメンバーからこっそり「マスクをしてください」という話が入りましたので、今日はマスクをしました。お聞き苦しいかもしれませんが、本日はこれで進めたいと思います。今日は、実質最後の会議になりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。傍聴の関係は、既に前回の会議でも確認はしておりますが、今回も席

が確保できる範囲で傍聴希望がありましたので、既に傍聴希望の方に入室していただいていることをご報告致します。毎回諮るのではなく、手続きに従って審査していただく形で行います。

前回の議事録の関係でご訂正いただく箇所がありましたら、事務局の方に後でお渡しいただきたいと思います。本日の中身に入ります、今の話が議題の2(1)議事録についてですが、次の2(2)総合計画の対応状況からご説明ください。

事務局

細かい資料をご説明する前にこの間の経緯をご説明致します。前回の8月28日金曜日、第4回総合計画審議会を開催させていただき、パブコメ案についていろいろご意見を頂戴致しました。その後、9月2日特別委員会からもご意見等を頂戴し、パブコメ案を作成致しました。9月18日から10月19日までパブコメを実施しました。個人、法人含め4者から22件の意見を頂戴致しました。10月5日に特別委員会を開催し、9月2日の意見がどのように反映されたかご説明し、意見交換、10月26日に再度特別委員会を開催し、最終的にパブコメで出された意見、町としての考え方を説明して意見をいただきました。本日は、その部分を反映させて、今の案という形で本日資料として配布致しまして、確認いただき答申いただければと思います。まず、特別委員会からの意見の反映についてご説明します。

事務局

- ・資料1：総合計画特別委員会からの意見等に対する対応状況について、事務局より説明（説明省略）

臼井会長

ご説明ありがとうございます。総合計画特別委員会からの意見等に対する対応状況について、資料1と計画書の案に基づいてご説明いただきました。それについて、皆さんの方から特にご意見はありますか。この事自体はよろしいでしょうか。全般的な話は、この後パブリックコメントの意見と合わせて、全体の計画についてご意見をいただきます。

近藤委員

一点、議会の特別委員会の指摘の中にあつた電気自動車の意見で、着眼としては、ありだと思いました。どこでやられているかは失念しましたが、町が補助金を出して電気自動車の購入補助、ただし、災害時には避難所に集まって電気供給に協力してくれとあり、まさに総合計画に記載のある、協働でできることにもつながるし、環境に配慮、災害対策などいろいろな可能性があると思って聞いていました。指標に入れる・入れないは別にして、今後、地域防災計画なのか、拠点に電気自動車一台配備し

て電気供給を行う、物理的な工事は必要かもしれませんが、着眼点としては有効だと思いましたので意見として述べさせていただきます。

事務局

確かに着眼として行政も認識しつつ、望まれた話が指標として立てたらどうかといわれたので、行政側としては、すべてを電気自動車にするというわけにもいかず、ご指摘としてもそれを望むものではないとのことでした。では、それをどのくらいの割合で電氣化するのか、それをすぐに入れて対応できる状況ではなかったもので、今後、どれくらいをガソリンで、電氣で、はたまた天然ガスを用いた NGC 車（ガス燃料車）などで、多様な形の中で検討は進めさせていただきますと回答して特別委員会の方ではご理解いただいたところです。

近藤委員

承知しました。

高梨委員

質問の 4 と 5 について、個別の計画と施策との関係が見えづらいのでこのような質問が出るのだと思います。全体構成になりますが、例えば、30-31 頁の基本計画の構成が書かれているところに、資料編との関係が一言書かれていたりする、それぞれの個別の政策については資料編にまとめられています等の注釈があれば良いのではないのでしょうか。そういった質問が複数出るということは、個別の施策との関係が見えていないのかなと思いました。

一方で、資料編の方でも、各基本施策に合わせて書いていますが、資料編の方だけ色が一色刷りで、せっかく前は 3 色なのに後ろは赤一色なので見えづらく 3 つの施策が入っているということが見えにくいので、資料編との整合ということでは工夫が何かあると良いと思いました。

事務局

貴重な意見ありがとうございます。生のご意見参考になります。おっしゃるとおり一色刷りの中で、どの程度、今の分けができるかチャレンジしてみたいと思います。また、基本計画の体系のところ個別計画との関係性についてもなるほどと、そういう視点が欠けているという思いがありますが、この表が大変細かくなっているというつくりもまた問題なので、相対として、資料編と個別計画がどうリンクしているのか、どうしたら上手く表現できるか工夫したいと考えます。

高梨委員

お願いします。

臼井会長

期待したいと思います。それしか言いようがないです。

事務局

はい。

臼井会長

大幅にページ数が増えるのもまずいし、制約がある中での話となりますがよろしくお願ひします。特別委員会からの意見への対応はこれでよいですか。次に、今はどこへ行ってもパブリックコメントという言葉が使われていますが、本来日本語では、「意見公聴手続き」といいます。これは、行政体が何かを決める時に、特に住民の方に影響があることを決める時に、対象となる方に前もって意見を募る手続きになります。総務省のHPを見ると意見公聴手続きとありますので、意見広聴手続きを行った結果を含めて、事務局からご報告をお願い致します。

事務局（碓野担当）

・資料2：パブリックコメントの実施結果について、事務局より説明（説明省略）

臼井会長

ご説明ありがとうございました。いただいた意見の対応について、資料を見てご説明いただきましたが、これについてご意見、ご質問はありますか。

福安委員

No15の地球温暖化について、いただいた意見の下線部のところですが、「学校への総合効率の高い自立・分散型エネルギーシステムの設置の促進することを検討します」ということをつけてくださいとのことですが、これに対して町の対応は「環境にやさしいまちづくりを推進しています」という対応だが、意見をくださった方の意図としては、いわゆる地球温暖化対策の推進という括りでご意見をくださったのだろうが、意図は2種類あったのだろうと思います。ひとつは地球温暖化、もう一つは災害対策だと思うのです。なぜかというと、自立分散型エネルギーシステムというのは、東電のグリッドから離れて自分たちで発電するキャパシティをもつということなので、災害になった時に自分達で発電できるという意図が含まれるのだろうと思います。町の対策として「環境にやさしいまちづくり」だけでは、この方は若干消化不良なのではないかと感じました。

事務局

貴重なご意見ありがとうございました。確かに2つの側面が意図されていると思うので、町の対応の回答として不十分な部分があると思います。今日、こちらで町の対応

についてご説明、意見を頂戴する中で、今の防災対策の側面からも、なにか個別に検討しますが、こちらの総合計画の後期基本計画で、こういったものそのものを記載するには内容的に細か過ぎるので、こちらには記載しませんが、個別検討を行う上では、是非災害対策として記載したい。ただ、この方は、わざわざパンフレットを持ってご説明にいらっしゃったので、関心を持って拝見させていただいております。こちらも防災部局の方に伝えます。電気を使わないで発電でき、独立した都市ガスの供給が災害時に止まる可能性の低さや復旧の速さ等もご説明いただいたので、是非、今後取り入れるべきだと考えております。そうった含みもわかるような回答を考えてみたいと思います。

事務局

ありがとうございます。どうしても総合計画は町の最上位計画になるので、適切な表現ではありませんが、どうとでもとれる書き方、個別計画で書かれているものの基になっているのは、総合計画のこの部分と読めるようなつくりになりがちです。やはり注目が集まるのは最上位計画の総合計画であり、議会の方にもお諮りするのです、この場で言ったほうが有効だということもあります。ただ、個別計画の存在を知らない人も多くいるので、今までも巻末にそれぞれの単位施策ごとの個別計画の記載がありましたが、今回はそこを更にクローズアップできるような仕方、それからここで頂いた意見で細かすぎて書ききれない部分は、政策課を通してそれぞれの担当課に伝えていきます。これに関しては、平成27年からやっていますが、総合計画の計画期間とそれぞれの個別計画期間を合わせてもらうよう、全町的にお願いをしており、今、粛々と教育、福祉、環境等の分野で進めています。総合計画の中で書ききれなかった部分について、この個別計画の中に、「書くような検討をしてください」と、持ち帰りそれぞれの部署にお願いすることで、それぞれの部署に繋ぐ役割はさせていただいています。もう少し案内をHP、広報誌、いろんな場面でそれぞれ個別計画がこのように位置づけられて、その基になっているのは総合計画です、といったアナウンスを、政策課からたくさん実施し、拡散していきたいと思っています。

福安委員

ありがとうございます。

白井会長

病院や福祉施設で生命維持の装置の電源がダウンすると利用者の命にかかわるようなものがあって、それはここに書いてあるかの問題でなく、入院設備であれば当然だが、そのようなことに配慮した対応が必要となります。電源の確保は、通常の電源ルートではなく、それが落ちた時にどのような対応をするのか、手術の時に電源が落ちたらそこからもう手術は出来ませんでは困るわけで、或いは人口呼吸器が落ちるのもまずいわけなので、個別にはやっていることは既にあるかとおもいます。現実的に対

応している話は、町が把握していなくてもやっていることはあるので、そういったことも含めて、かなり広い対応で、全体をここに書ききるのは難しく、やるべきことはそれぞれの部署でやらせてもらいますということでも、答える趣旨に入ると思います。実際にやっているもの、例えば、人工呼吸器を持っている医療機関があれば、当然、補助電源を持っていないとおかしいという話になりますし、ALSという特殊な神経難病ですが、人工呼吸器を使わないといけなくて在宅で居られる方もいますが、こういった方も、通常は家庭の電源を使いますが、万一停電を起こした時にも対応できるバックアップ体制をとった状態で医療機関から家庭に戻っていただくということが一般的な話なので、バックアップ電源を確保することは常識でやっていることが前提ですが、そこはここには見えないことを頭に入れて書いていただきたい。あとはいかがでしょう。

高梨委員

この回答は、意見を出された方に返信をされる予定で書かれている内容ですか。既にこういう風に回答したということでしょうか。

事務局

これから回答という形になりますので、今日お話をさせていただき、意図をくめばこのようなのではというのがあればそこは修正したいと思っています。

高梨委員

だとすると、例えば5や6の回答は「具体的な記載はしません」とだけになっていますが、実際には、これはもっと具体的な施策の個別案件だとわかるような回答文にしておいて、「こちらに情報として内容を回します」と、後半部分のような回答記載と文言を合わせる形にされる方が、質問された方への説明としては良いと思います。

事務局

そうですね。「具体的な手法についての記載は致しませんが、」ということで、その後、「ご意見の趣旨については、「単位施策〇〇」の中で〇〇のように包含していると考えます。」という回答の文章に改めます。

白井会長

20番に、送電線の地中化の話が書いてありますが、多くのところで地中化した方が良いということで議論が進んでいます。葉山町には断層はありますか。断層がある所に地中化した電線があると、断層がずれた際にバッサリいってしまいます。地中化をやれば良いというわけではなく、大陸自体に断層がなく大きな地震もないところでは地中化には効果がありますが、地震が多い所だと断層で送電線網が切れてしまうと後始末が結構大変で、もう一回埋め直して作るなどということになります。そのような

状況もある中で、今現在この状況にあることをもう少し皆が理解した方が良いと思います。これは感想です。できれば地中化した方が良いが、それが全ての答えにはなりません。1 m断層がずれた時、またがって公共施設が埋められた時、それもやられてしまいます。どうやってそれをリカバーするかを考えた時、どれが一番良いのかと考えると、あまり皆さん議論されていません。本当はそこまで議論しないと、結論は出せません。

事務局

目からうろこでした。いつも入り口は、大規模な地震があった時、道路が分断されて救援物資に支障がでる、御用邸がある町として景観が悪いということで、地下に埋めることによりもっと大きな災害になる、修復が困難な状況になる可能性があるという視点がなかったので、活断層の状況を見た上で、ここだったら送電線より良いという状況も見て、町民の方々の願いであるならば景観にも配慮しつつ、緊急輸送路に電柱が倒れないような状況になるような効果的な所を探っていかななくてはいけないという気づきが今のご意見でありました。これまでは全くありませんでした。

白井会長

いわれてみると、お分かりになるかと思います。もうひとつ、書く必要も直す必要もないですが、町の中に養豚場はありますか。

事務局

ないです。

白井会長

そうするとこれらの被害の可能性はないわけですね。ある県では、豚コレラが迫ってきて、ワクチンをどうするか騒いでいたことがありました。県内の養豚場もいつどうなるかといったシミュレーションも若干していました。町の中に養豚場がなければ、イノシシの話は、そのイノシシが亡くなるという話で、そのイノシシから養豚場に大きな被害が及ぶという話ではないので、確か書かれた中に、豚コレラを理由にイノシシ対策という話がありました。そう答える必要はないですが、養豚場のある自治会かそうでない自治体かでは、大きく対応が変わるということを意識していただければよいです。高座豚の方はそちらに入ると大変ということです。

守谷委員

17番、情報難民のところで、確かにうちの方でも防災無線が聞こえにくい所があり、早急に変えていただきたいところもありますが、地域防災計画に載っているかわかりませんが、防災アナウンスの表現の仕方が気になりました。昨日は、ご存知のとおり世界津波デーで防災訓練があり、私町内会役員は避難場所に行っていましたが、

「これは訓練放送です」と言われているのです。そうすると第4、第5地区の人は、守山神社に集まるのですが、単なる放送だと、一人しか来ませんでした。うちは海の近くで津波に敏感にならないといけないのですが、その辺の放送の仕方によっても変わってくるのかなと思いました。これは、総合計画に入れる話ではないですが、できれば検討いただき、このような時はこうするよということを、わからせるような表現をしてもらいたいです。

事務局

私は会議中で放送を聞けなかったのですが、「訓練放送です」と言ったのですね。

守谷委員

はい。確か最後にそういわれたと思います。

事務局

訓練と復唱して放送することはありますが、「訓練放送」というと「放送のテスト」と思われるかもしれないですね。訓練ではありますが、より多くの方に防災意識を持っていただくという意図と離れてしまう感じになるので、防災安全課が所管課なので、もう少し訓練だけど区民に参加してもらえるようにということで、伝えます。ありがとうございます。

臼井会長

よろしいでしょうか。特別委員会からのご意見及び意見広聴手続きに基づく対応についてはこの位にして、全体を見て、後期基本計画の内容についてご意見があればお聞きしておきたいと思いますがいかがでしょう。

近藤委員

ここまで計画策定お疲れさまです。よく読み直してまいりました、本日3つ申し上げたい。まず始めに、計画の進行管理、もしくは130頁の基本目標11、町民の満足、納得度の高い行政サービスを常に提供している町、ということで行政運営にもリンクしますが、そのことについて、ひとつは、端的に言うとICTやデータの利活用、進行管理ではPDCAは当然だが、EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）証拠に基づく政策立案、より一層データに基づいて客観的に判断した上で進行管理せよと加筆した方が良いのではないかと。最上位計画を回すのにその視点がほしいと思っていました。行政運営にもはまりますが、葉山の総合計画を見ていて、協働で出来ることとあるのが非常に特徴的で良いと思ってきてきましたが、行政運営、組織の充実化においては、多様な担い手との連携があつて良いと思います。何を言いたいかというと産民学連携、NPOだったり企業だったり学校団体だったりですが、後段には広域連携みたいなことも書いてありますが、多様な担い手との連携、企業、大

学などの着眼を加筆した方が良いと思いました。重ねて町内内部について、これは論点2つ目で申し上げようと思っているのですが、国でデジタル庁を作る、デジタル・トランス・フォーメーションDX等と言っている中であって、町民の満足度を上げるには役場改革、RPAやAIなど新たなICTを積極的に活用して、効率化を図るとともに、庁内システムの見直し、IC環境の最適化を図ることにより住民サービスの向上につながる、総じて冒頭で申し上げたように、ICTやデータの利活用については最上位計画だからこそ入れるべきだと思います。これからコロナ禍でどんどんデジタル化が見直されていて、町も変わっていくものだと思います。まずは計画の進行管理だったり、行政運営全体においてICTであったり、デジタル化について加筆すべき、と意見として付しておきたいと思います。

2点目は、DXについて、調整に係る全ての面でデジタル化を意識すべきだと思います。行政事務もそうだし、町民サービスにおける捺印をどうしようということもそうですし、今や農業だって漁業だってAIとあって、ましてや健康や医療もそう、書きぶりはそれぞれに書くとさすがにどうかと思いますが、今後後期4年間運営する中であって、その着眼がないということは、裏を返せば町、役場、行政として何も手が出せないということになりかねないと思うのです。書き方はこの時点なので細かく言及しませんが、申し添えておきたいと思います。ただこれは、町が検討してこなかったのか、今ごろだということではなくて、今まさに後期基本計画策定中に出てきた新型コロナなので、鋭意検討して記入すべきではないでしょうかということ意見を申し上げておきます。まずは以上2点について申し上げていました。

事務局

デジタル庁、判子レスの話、まさに行政実務がそのような波に変わっていかうとしている中、新型コロナ禍で町役場でもリモートで在宅勤務もありましたが、役場の業務としてはそぐわないと思いました。私は、在宅勤務は1日だけでまさにこれに関する業務でした。家にデータを持ち帰れない部分が多いので、一定程度紙で印刷して、カバンにチャックをして持ち帰り家で勤務しました。在宅勤務は業務的に適さない、町役場だけでそれをやっても、町役場に来なくても行政の手続きができるような環境が整わないと、それと並行してやっていくものなので、そぐわないのです。これは山梨町長の感想でもありますが、町役場は在宅の勤務では作業に限られます。個人情報でないもの、部署によっても違いますが、財政課は数字の持ち出しはできないものですから、自己研鑽という時間に使わせてもらえないかということを経務部の方に申請して、いろんな他自治体の予算書、決算書を見ながら取組の内容、財政の扱い、運用の仕方ということを勉強する機会にはなりました。電話もかかってこずに窓口対応もなく集中はできたが、それを自分の仕事に役立てるためには、もうひと工夫事務所に出てきて作業した上でないと、すぐに効果を表すことはできないというような話がありました。ただ、総務部、管理部門を中心に、判子レスやコンビニエンスストアで諸証明が取れるというのもひとつの取組だと思いますが、そういった視点をもって、国

の動きも気になる部分ではありますが、あとはギガスクールという形で全ての小中学生にタブレット端末を一台ずつ今年度中に貸与するになっていますので、そういったことをきっかけに何をしたらよいか、行政実務でどうしたらデジタル化出来るか総括しないといけないと思っています。何が足りないか、何を進めるべきか総括した上で計画に落とし込むことが必要だと思います。ご意見はごもっとも、世の中の流れが変わり進んでいる中で、町役場の職制として何が対応できるか検証した上、今回の後期総合計画の中にどのように頂いたご意見を持ち帰って何が反映できるかわかりませんが、当然行政運営のPDCAサイクルを回すところに、なにか入れていくということ、また一人ひとりの業務のあり方、感染症がいつ終息するのか、新たな感染症がいつ何時どこから発生するかもわかりませんので、当然備えとして必要になると思いますので、これからの宿題として考えさせていただきたいと思います。

近藤委員

ありがとうございます。当然ICT化を進める中、ICT難民どうするかということもあるでしょうし、国としてもどうにかしないとイケないという方針も出ていますので、色々と検討していただきたいと思います。もう一つ大きいのは、納税や電子マネーの決済がこれからの主流になるでしょう。時代の流れは早いので、そこは、書きぶりをどうするかはわかりませんが、ICT、IoT、デジタル化みたいなものをひとつ落とし込めるべきではと思いました。

臼井会長

今、PDCAサイクルについて書いてあるところをあけて考えていましたが、DC Aサイクルのチェックのところに通常評価という項目がありますが、評価について、科学的にきちんと状況を評価してやった施策の効果を評価する、2つの評価というのは、アセスメントとエバレーションで違うが、状況をきちんと数値化できるものは数値化してとらえる、それに対して対応した施策について効果測定をして、それが適切だったかどうかを振り返るといったことを、ここで書き込んでもいいのかなと思います。少なくともその中で使えるノウハウ、科学的なノウハウをもう少し入れて対応することが言われたことについて、全部ではないが、3～4割答えたことになると思います。もう一つは、一定の町が電子マネーなどに乗り遅れないように、町民の方をサポートするのは大事だが、難しいところで、ある種の価値の発信になってしまいます。重要だからといっても、それが良いのか悪いのか1回は議論してください。行政が価値の発信をするのは、人々をある方向に引っ張っていくことになります。それはいいこととしてやるべきなのかということ、ワンクッション置いて、近藤委員がいったからやるということではなく、近藤委員の提案を受けて皆で議論をした結果、一定の発信をしたほうが、或いは一定のところまで、力業で前にでて無理やり引っ張るのか、手をつないでみんな歩いていく程度の取組なのか、後ろから背中押す話なのか、方法はいくつかあると思いますが、その程度をどれくらいで考えたらいいのかと

いう議論をした上で、対応することが非常に大事だと思います。その部分は方向的には悪くないし、ゆっくりするか早くするかはわからないけれどそっちへ進んでいくが、その時に町の立ち位置をどの辺に置いてそれに取組むのか、気をつけないと取り残される人が出るので、その人たちのことも考えながら、どのくらいの立ち位置で町はその仕事について価値として公共的な対応をするのか、ということが求められるのかと思います。とても良いご提案だと思います。今のようなところを、頭のどこかで意識して計画に取組みますということが読みとれるような記載をどこかにうまく総論でしておけるといいかと思います。個別の細かなところまで書かなくていいが、総論で書いていただくと、とてもご提案いただいた趣旨に沿った内容になると思います。

福安委員

先ほどのICTについてと全体についてお話をしたいのですが、今、既存の何かをICTで置き換えようとするとても大変なので、新しいサービスからデジタルでやるということを突破口にしていくと良いのかと個人的に思います。全体的な点ですが、後期基本計画を作っている最中に新型コロナ禍になってしまい、新型コロナを受けて私達の社会がどうなっていくべきか、私なりに将来を考えていたのですが、先ほどのパブリックコメントのフィードバックの中にあった、「自立分散」が、これからのキーワードになるだろうと感じています。元々自立分散社会と言われていたが、新型コロナで人が都会に一極集中する社会から世の中に分散する流れの中で、その中で後期基本計画をどのように作っていくかの視点というのは、十分に盛り込めていないのではと思います。例えば、今日出てきた環境問題にしろ、インフラの整備にしろ、葉山町として自立分散していく視点というのが、既に出来上がったのだから仕方ないといえは仕方ないのかもしれませんが、少しあるべきなのかと思いました。特に、エネルギー問題、防災の観点からも、昨年、停電でリスクを感じた点なので、何かしら「新型コロナ社会を受け自立分散社会の必要性があって、電力だとかライフラインが自立分散していかなければいけないのだ」という視点が盛り込めるといいのかなと思いました。

臼井会長

ありがとうございます。今の視点は、計画の進行をさせていく時に、問題意識をずっと皆で共有しながら、必要に応じて計画に書いてあってもやめてしまう、計画に書いてなくても必要なことをやる、つまり、新型コロナの中で作った計画だからこそ社会が変わっていくことに合わせて柔軟な対応をするということが一番大事だということ、計画の進行管理をするときに、皆とその意識を共有することが大事だと思います。もちろん町が作った計画なので、町の方に中期的な視点でこういう風に町は将来を見据えてまちづくりを進めていきますということを使うだけけれど、それは当然のこととして前提があるわけで、その前提が動いてしまうのなら、先に見せたものも当然だが動かざるを得ないということもどの位町民の皆さんに事前に発信するかという

ことは難しいところですが、可能な範囲で少なくとも進行管理する側はそういった意識でいていただければと思います。この話は、やっと半年を少し超えた位ですが、例えば、感染症で何冊も本を読みましたが、一番大きな変化があったのは1400年代後半にあったペストの大流行で、あれが元でキリスト教に対するヨーロッパの人々の信仰に対する意識が大きく変わり、キリスト教から開放されて人の事を考えるようになったので、ルネサンスが起きたという風に考えるのだそうです。これは村上陽一郎が「ペスト大流行」の著書で書いている有名な話です。それは、半年のスパンではなく、もっと長いスパンから表れたことだが、今回の話がどのくらいのところで私達の考え方、住む場所の話などは明らかに都市部に住むだけじゃないという別の選択肢が価値として意識し始めているわけですが、それがもっと別の形で私達の生活様式を変えるようなものとして強く出るかもしれないので、そのことに関してはセンシティブでいなくてはいけないと思います。半年でも大きな価値の変動があるのだから、その先に向けて変化するものをきちんと受け止めながら進行管理をすることに尽きると思います。その時に柔軟さを欠かさないようにしたいということだと思います。

事務局

貴重なご意見、先ほどのICTの話、またキーワードとして自立分散という言葉をいただきましたが、実はまだ皆さんに見ていただけていないパーツが一箇所だけあります。冒頭に町長がコメントを入れるページがあります。これに関しては、意見をいただくものではないので、今日の総合計画審議会最終的にICTの話、新たな生活様式、自立分散型社会への方向性みたいなご意見がありましたが、何か盛り込んでいただけるように期待しつつ、こういった議論があったことをお伝えし、勿論会長からもお話がありました通り、今後の進行管理に向けて、3月31日書面開催をした時に、福安委員より、コロナ禍をうけて、ICTの視点が必要だというご意見を頂戴することも認識しつつ、これをつくるのにちょっと後手を踏んでいることは間違いないと思います。こちらでもお話をさせていただく中で、最初の計画の策定にあたってということで、十分に新型コロナ禍の対応が出来ていないという言い訳もしながら、今後この計画期間にここに書いてない部分についても、ある部分についても柔軟に対応していく必要性はあるというような書きぶり、この計画を作っている部分があります。今、個別の部分については勿論、後で加えることはなかなか時間的にも難しい部分があるので、今の部分で、町民の皆さんに伝えられる冒頭になると良いと思っています。

高梨委員

今の議論も前の議論も含めつつですが、PDCAの議論、最初にてでくるのが4頁のところの計画の基本姿勢という頁なのですが、ここの2つ目に進行管理評価ができる計画、というような言葉が出てきています。この場面での進行管理というような言葉をそのままとると、立てた計画がきちんと進んでいるかという評価ということを指

して、これを指してP D C Aのようなイメージがあるのですが、それとは別にこの計画が妥当なのか、或いは新しい視点が必要なのかということも評価の検証としては入れるべきなのではないかと思っています。そういった評価がしやすい計画、ひとつは進行管理ができる、この進行管理については、まちづくり指標がある、それがエビデンスになるという形で作られているのではないかと思っています。最初の議論でエビデンスベースと考えたときには、そこをクライテリアにしているのだと思います。それをやっているということが、もう少し書き込まれた上で、それとは別に既存の指標がその後も妥当なのか、或いは改善が必要なのかというまちづくり指標そのものや、或いは項目を検討する上でも、今回の分け方が見やすいのだと趣旨の内容を書き加えられた方が良く感じました。そうすると、この進行管理の言葉自体が何を指しているのかということが、今、見えづらいのかと思います。143頁に図を出しているが、進行管理といったら、いつなにをするのかということが入っていないといけないと思うのですが、それが一切書かれていないので、いつどこでチェックして、いつどこでそれがアクションに戻るのかというところが読めない、見えないというところがあります。この図自体は、勿論その通りやるよね、というような図にはなっていますが、管理としては、もう少し付け加えたほうが良いようなイメージがありますがいかがでしょうか。

事務局

会長がおっしゃったように、コロナ禍の中でつくった総合計画で、もともと行政内部の策定委員会の中でも、新たに作る必要があるかというような直接的な意見も部長職からありました。結局計画したものがすべて実行できなかつたら、それは絵に描いた餅のような状況になってしまいますので、新型コロナ禍で今の前期基本計画を一年伸ばして様子を見るべきかという話もありました。あと、今、P D C Aサイクルの話が出て、夏場に政策財政部政策課、財政課、事業を展開していく公共施設課が一つになって政策財政部になっていますが、3課合同ヒアリングを実施し、必要に応じてこの3課合同ヒアリングに人事の配置の関係で参加したいというのであれば、それは拒むものではないということで、総務部の参加も試みました。あと、事業の結果として出てくるのは、決算の結果、新たに企てた事業が思うように支出が伴わなかった、執行が滞ったという、なにか見直すべきだと考えていきます。それを思った上で考えていく、1年が終わった事業の合間、夏場にヒアリングをかけて目指そう値に向かって進捗はどうかの実施経過の一つ下にあるものの振り返りを行っています。今の時勢にそぐわなくなっているものも実際ありますが、何もかもやめるのではなく、より良いものにするために発展的解消に各職員が臨まないと悪い見直しになるので、ここが非常に難しいところになります。予算を見たり決算を見たり委員会で対応したりとなると、行政の職員が本当はこうしたいがというようないろいろな事情があつて、既得権のような事業になったりするので、今後そのような視点を新たな今の時勢に遭つた、本当に町民の方々が欲しているようなものがどこにあるのかということ、それ

ぞれ作っている計画の中でアンケートもやっており、今度の夏場にやるヒアリングでそういったところも持ちよった上で、今極端に言うと、事業をコロナで廃止してしまう、また新たな新規事業を組むといったことが後期基本計画の実施の中で出てくる可能性があるので、そういった話は先ほど政策課課長が話したような挨拶文の前文の中で新型コロナ禍の中で作った計画なので、新型コロナの終息の状況を見て色々と変わってくる可能性があったり、地球規模の環境がという話も出てきて、気候非常事態宣言の話もいただいたが、そちらの方については、SDGsを踏襲していくと、ある程度いろいろな目標に達成できるという状況もあるので、そういったことに積極的に取り組んでいく環境だったり教育だったりいろんな部分を前文の中に書き入れていって、いただいたご意見で足りない部分については、そこで少し拾っていかうかなと思っています。それは山梨町長とも相談して、いただいたご意見で書ききれなかった部分、もっと大局的にみて大事な部分、行政運営の部分も出ているということも伝えて文章を作ってもらおうと思っています。

高梨委員

143 頁の上に 2 行ほどスペースがあるので、そこに「長期的視野として目指そう値がある」ということと「年度ごとに見直ししている」という「時期的なスパンがあって、それを進行管理している」という趣旨が入るような文章がもし入れられるようでしたら、入れた方が良くと思います。

事務局

書く場所までありがとうございます。

臼井会長

4 頁の進行管理ができる計画のところもあと 2 行入る。どうぞよろしく願い致します。検討をしてみてください。

近藤委員

図らずも伊藤部長から発言がありましたが、本日指摘したかった事の最後に残っていたのが、SDGs についてです。世界規模でおかしくなる温暖化の問題やエネルギー、ウイルスのお話、国連で全世界が採択した話で、2030 年に向けた目標というものを、これだけいろんな人がいる葉山町にあって、国際社会に葉山町も貢献といった形で、SDGs の考え方はあって当然だともっています。当然ここに様々な問題点が書いてあって、SDGs の 17 つの目標に落とし込んでいくと、それぞれが関係しているということは誰しもがわかることです。かつその縦割りの弊害を打破してとなると、それぞれのセクションも責任感が出るのではと思っています。SDGs のことについて申しあげたかった。県のグランドデザインには SDGs の 17 個の目標が盛り込

まれています。今更それを書き込めとは言いませんが、その視点、考え方は2030年に向けた目標なのでもっていただきたいと思います。

事務局

ありがとうございます。他の団体の総合計画をみると、SDGsの17個の取組がそれぞれの頁に落とされていたりします。後期基本計画の出発の時点でどうするべきかという話は内部でもありました。ただ、葉山町では前期基本計画と後期基本計画が大幅につくりが変わってしまうということで今回はSDGsの17の目標それぞれをそれぞれの単位施策に入れるというのはなしという話し合いをしました。それについては、必要なら第五次の時に、必要だという話になれば立てたいと思います。町長の挨拶文も10頁に渡ると読む人が困るので、あれもこれもというわけにはいきませんが、その視点も外せない、総論としてSDGs、どの施策にも貼り付けようと思えば17のどれかがはりつくということは、十分に意識した調整であるメッセージになるよう目一杯考えていただきます。

近藤委員

承知致しました。

臼井会長

審議会の思いも町長に伝えていただき、事務局と町長の間で調整をしていただき、思いが伝わるコメントを整理していただければと思います。

高梨委員

中身についてではなく、レイアウトについて、89頁に絵がありますが、その絵がなにを説明する絵なのかという説明文がありません。これはなんなのか、という思いになりますので、説明があったほうが良いと思います。また、65頁に南郷中学校の方の標語がありますが、この字体が、本文と字体と一緒にあるので、急にどうしたという感じがします。例えば、少し間をあけて、本文とは関係ないということが分かるようにしたほうが良いと思います。字体を変える、色を変える等して施策とは違うとわかるようにしたら良いと思います。パブコメのところで、具体的商品名とかは出さないという話でしたが、83頁「生ごみ処理容器キエーロ」だけは何故こだけ載せてもいいのかという質問です。

事務局

「キエーロ」は町に発案している方が在住していらっしゃるということです。

高梨委員

ご意見をいただいた方は、これが載っているならうちの製品も載せてくれてよかったのではと思うのではないのでしょうか。

事務局

登録商法になっているかはわからないが、欲のない方で、自分が開発したものだから他には使わせないと意識が全くなく、この自家処理をすることにより環境に有利な部分が出てくるのでどんどん使ってくれということです。商品名なのかどうかは確認したいと思います。

高梨委員

もし商品名なら名前だけ消して、(例) ○○といった記載でもいいと思います。

臼井会長

固有名詞をやめて、町民の方が開発した生ごみ処理機としたら問題ないです。

高梨委員

そうすると協働の感じも出ます。

事務局

そこはそのように当てはめさせていただきます。65頁の標語のところは、ご覧いただくとは分かりますが、令和元年度となっています。つい先日、令和2年度、新型コロナ対策をしながら審査をして、今年度の受賞作品の標語が決まりつつあります。これは元年度なので差し替えをさせていただくと同時に、前年度の字体を変えて改めます。その他の写真も精査して足りない部分も注釈は必ずつけるようにして入れます。

高梨委員

30頁の構成のところにある⑥の字体だけが違いますので、後で直しておいてください。

臼井会長

あとはいかがですか。

守谷委員

先程、SDGsの話がでましたが、今、私共、一色第4町内会は毎月海岸清掃をしています。もう2年以上になりますが、たまたま第三日曜日の朝にやっていますが、2年以上もやっていて、今年度は1回だけ中止ですずっとできています。何が言いたいかというと、当然葉山のグリーンプログラムもやっていますし、我々が集めたプラゴミの種類等、その他の情報集めをすべきではないかと思っています。その中でペット

ボトルをなくすとやっていますが、最近ペットボトルはほとんどありません。多いのは、牛乳やジュース等のパックのストローが一番多いです。そういったことも含めて、どのようなものをなくしていくべきかというところを、実際のデータを持って活動にあたってもらいたい。我々は毎月やっているので、情報を提供出来るので活かしていただきたい。

事務局

ありがとうございます。葉山クリーンプログラムで、なるべくペットボトルは使わない、使わないことによって生産量もしてもらわない、ただ、先ほど新聞でみましたが、リサイクル率が100%可能なペットボトルがでてきています。ペットボトルのゴミは極端に効果がでて減っているとのこと。また、環境フェスタの中でよしのぼりの会等の団体が、川の清掃を行い、下山川などでは自転車の川への不法投棄などがあつたりするので、川から採取したごみをブルーシートに掲示して意識を啓発していますが、それぞれの町内会でいろいろな活動、例えば、道普請して草刈りやっていたり、そういった方々と連携しながら、町の雑草清掃をしている方もいらっしゃいます。海岸のゴミも随分減りました。それをグラフ化して見える化し、広報誌でこれを取り上げてもらい、町のごみはこれだけ減っています、ペットボトルのゴミが減っています、その代わりマスクのゴミが増えているという話が、環境セクションから上がってきていますし、そのようなものを捉えていただき、行政を介して情報として発信して環境の意識を高めることも必要だと思いますので、いただいた情報を環境部に伝えて発信して意識を高める特集を組むなど申し伝えたい。

早川委員

皆さんの血と涙の結晶がいろいろな方に伝わるという目で見ると、用語の説明がありますが、その用語が何頁に出てきているかの記載がないので、大変だと思いますが一つずつ拾っていただき括弧で付け加えていただけるとこの資料が活かされると思います。

臼井会長

ふたつ方法があり、最初に出てきた頁は書いた方がよい。はっきり複数あるものは書いていただくと丁寧になります。また、お諮りしていませんが、用語の説明について、わかりにくい表現もあつたので、事務局と私の方で精査して変わることがあることをご了解ください。必ずしも完全に成果ではないかもしれませんが、これだったら理解してもらえかなといったような表現は、あえて正確さを問わないで残すこともあり得ます。これだったら理解してもらえかというものは、41番、特定財源について書いてありますが、国庫支出金、県支出金など使途が特定されている財源のこと、と書いてありますが、国庫支出金、県支出金は様々な種類があつて、いろいろな種類があつて、すべての使途が決まっているかというところではない場合もありま

す。ただ、概ねこれで理解してもらえるので厳密に書いてわからなくなるよりこれで良いと思います。曖昧さが残るものもありますが、そこはご容赦いただきたい。ご承知おきください。最後にこれだけ言っておきたいということはありませんか。

早川委員

後で入れられるだろうけど、資料編にも頁は入りますね。

事務局

入ります。

南委員

感想だけ、基本計画の策定からパブコメまで基本姿勢に基づいて丁寧に誠実に書いていますが、コメントをくださった町民の方は細かく読み混んでおられ、頭が下がる思いです。一方では、コメントくださったのが22件、22件をどう評価するのか、数が多ければ良いというわけではありませんが、別の計画の存在を知らない人もいるということもあるので、その辺のところのアピールが課題なのかなと思いました。結果的に22件いただき、その扱い、それに対する町の対応が一つひとつ丁寧に書かれています。答えてはいますが、パブリックコメントを実施したことで何が変わったのか、何がプラスされたのだろうか、町民の意見に共感を示す場面が結果的にはなく、行政として説明は果たされていてパブコメはそのようなものではないというものかもしれないが、せっかくこれだけの労力をかけて、行政と町民の双方向のやりとりでまちづくりをやっていこうということが根本にあると思いますので、ご意見があまりないということは、町の計画が必要充分網羅されていることかもしれませんが、できれば町民からのアイデアが取り入れられたら、皆で作ったまちづくりになると勝手な感想です。

臼井会長

パブリックコメントについて、何らかの形でお返ししますが、全体として「町として、総合計画と個別計画の関係について、もう少し情報発信をするべきだと認識しましたので、引き続き努力していきます」などと書いた上で、個別の話が書いてあると、それでも今の話に答えたことになると思います。また、「もっと日常的に発信する必要があります、そのために努力します」という声が前提にあって、個別が書かれていると今のご指摘に答えることになります。これは個別に相手に返すのかホームページ上に載せるのか、その点についてだけお願いします。

事務局

町民からの意見公募手続き、パブリックコメントについては、個別の回答はしませんという前提で行っております、いただいた意見は、重複する話もある場合もあり、町はこう考えますとホームページ上に載せることで回答します。

臼井会長

個々のご意見が羅列される前に、全体として総合計画と個別計画のことが書いてあると良いと思います。

事務局

おそらくその存在を知らない方もいらっしゃるので、そこを書きたい。私達の取組が満足いただけているかという、満足度調査をやるとそれほど満足いただけていないものもあります。あとは行政として、慎重になりすぎて進みが遅いという施策もあります。今回は、基本構想を作る段階から、臼井会長から講義をしてもらったりワーキンググループをやったり、中学生に対してアンケートを個別にやったり、基本構想を作るための意見募集を幅広くやり、関心度が今回より高かったと思います。どのようにしたら興味関心をもっていただき、個別計画もあることを知っていただけるか、ギガスクールで配ったタブレットから意見を寄せてもらえれば等、後日考えたい。事務的な手間はかかりますが、たくさんの意見をいただき計画に溶け込ませていただければ良い計画になるので、次回の第五次の計画の立て方もさっそく模索しながら考えています。

臼井会長

よろしいですか。いくつか大事な進め方、総合計画の扱い方等、良い意見がたくさんでました。きちんとお伝えさせていただくことを前提でご了解いただければと思います。町役場の管理も気を遣っていただければと思います。今後、進行管理の会議も開催されると思いますが、今日出た話を念頭に入れて議論いただければと思います。この会議で議論しなくてはいけないことは以上だと思いますが、町からその他ありますか。

事務局

長い時間を頂戴いたしましてありがとうございます。本日頂いた意見を踏まえて修正すべき点があれば修正した上、こちらでいただける審議自体は本日で最終とさせていただきます。11月下旬に予定している葉山町定例会で議案として上程したいと思います。特別委員会で最終の賛否を取り、最終的な議案にしたいと思います。今日は、第5回なのですが、実はもう一つ、ひと・まち・しごと総合戦略という計画がございます、これは国の地方創生交付金というのをいただくために、この会議を開かないと地方創生交付金がもらえないので、今年3月31日に皆様にお会いできなかったのも、元々令和2年まで伸ばさせていただきました。令和3年度～6年度、この総合基

本計画に合わせて年明けて審議会でご審議いただきたいという話がありますので、細かい日程については、また日程のご相談をさせていただきます。

3 閉会

白井会長

本日もありがとうございました。これで第5回葉山町総合計画審議会を終わります。ありがとうございました。

終 了